## ②石で作った道具(石器)

旧石器時代から、人々は石で作った道具を使用していました。旧石器時代や縄文時代は狩猟生活をしていたことから、動物を狩るのに適した道具や、肉・皮を加工するための道具を作って使用しています。また、木を倒すための斧などもあります。

弥生時代に入り、大陸から稲作ともに、道具やその作り方が伝わると、田畑を耕すための道具や、稲を刈り取るための道具、建物建築に必要な木を倒したり加工するための道具など、多くの種類が見られるようになります。

さらに、「クニ」が発展していく中で、石器は「戦いの道具」としても使用されるようになります。

## 展示資料について



## 弥生時代

①石包丁:稲穂を刈り取るための道具

②石鏃:石で作った矢じり

③石剣:石で作った剣

④砥石:石を研ぐための道具

⑤石斧:木を倒すための道具

## 縄文時代

①石鏃:石で作った矢じり

②石匙:動物の皮・肉・骨や木などを

加工する道具

③石錐:穴を開けるための道具

①角錐状石器:木の柄につけて、突くための道具 ④石鍬:土を耕すための道具

②ナイフ形石器:動物の皮を剥いだり、肉を切る ⑤石斧:木を倒すための道具

ための道具

③石刃:切る道具で、両側に刃がついている

④尖頭器:木の柄につけて、突くための道具